

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2005-269120 (P2005-269120A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-038
 【出願番号】特願 2004-77281 (P2004-77281)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/66 (2006.01)

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/66 A

H 0 4 L 12/28 1 0 0 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

制御対象となる機器と、前記機器に対する制御を行なう遠隔装置との間で、制御に伴う通信を処理するゲートウェイ装置であって、

前記遠隔装置及び前記制御対象となる機器との間の通信を行なうための通信手段と、

前記通信手段が、前記制御対象となる機器に関する情報を要求する遠隔操作信号を前記遠隔装置から受信したことに応答して、前記制御対象機器を制御するための制御パラメータを生成するために前記遠隔装置において操作者に提示すべき情報を前記通信手段を介して前記遠隔装置に送信するための提示情報送信手段と、

前記通信手段が、前記制御対象となる機器を制御するための制御パラメータを含む遠隔操作信号を前記遠隔装置から受信したことに応答して、当該制御パラメータを抽出し、当該制御パラメータにしたがい、前記制御対象となる機器に対して制御信号を前記通信手段を介して送信するための制御信号送信手段とを含む、ゲートウェイ装置。

【請求項 2】

前記通信手段が前記遠隔装置のユーザに関する情報を含む遠隔操作信号を受信したことに応答して、当該ユーザに関する情報を保存するためのユーザ情報保存手段をさらに含み、

前記提示情報送信手段は、前記制御対象となる機器に関する情報を要求する遠隔操作信号を前記遠隔装置から受信したことに応答して、前記制御対象機器を制御するための制御パラメータを生成するために前記遠隔装置においてユーザに提示すべき情報を、前記ユーザ情報保存手段に保存されている情報を用いて作成し、前記通信手段を介して前記遠隔装置に送信するための手段を含む、請求項 1 に記載のゲートウェイ装置。

【請求項 3】

前記制御信号送信手段が前記制御信号を前記通信手段を介して送信したことに応答して、前記ユーザ情報保存手段に保存されているユーザ情報により定められる遠隔装置に、所定のメッセージを送信するための手段をさらに含む、請求項 2 に記載のゲートウェイ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 5 】

[第 3 の実施の形態]

第 2 の実施の形態では、ゲートウェイ装置 3 0 0 は、機器に制御信号を送信する際に、メッセージを作成し送信した。しかし、ゲートウェイ装置は、機器の制御がなされる前の段階、即ち機器を制御するためのアプリケーションメニュー画面の作成時に、遠隔装置 9 6 A、9 6 B、及び 9 6 C に対してメッセージを作成し送信するようにしてもよい。